



## 平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 魚喜

コード番号 2683 URL <http://www.uoki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 有吉 喜文

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 堀 弘之

TEL 0466-45-9282

四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	3,310	△5.6	52	83.4	50	92.4	40	220.8
26年2月期第1四半期	3,506	△1.0	28	△6.1	25	△5.6	12	—

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 45百万円 (190.6%) 26年2月期第1四半期 15百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	15.81	—
26年2月期第1四半期	4.93	—

※平成25年9月1日付で普通株式5株を1株の割合で併合しておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
27年2月期第1四半期	2,659		291	11.0		114.27		
26年2月期	2,208		246	11.2		96.60		

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 291百万円 26年2月期 246百万円

※平成25年9月1日付で普通株式5株を1株の割合で併合しておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	△4.6	41	400.7	41	—	2	—	0.78
通期	13,500	△2.4	160	26.9	160	38.0	80	173.7	31.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	2,555,856 株	26年2月期	2,555,856 株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	2,061 株	26年2月期	2,021 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	2,553,795 株	26年2月期1Q	2,553,967 株

※平成25年9月1日付で普通株式5株を1株の割合で併合しておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年5月31日まで)におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済対策・金融政策の効果もあり、緩やかな回復基調にあるものの、新興国をはじめとする海外経済の減速や輸入原材料の価格上昇などの不安材料が存在し、先行きは依然として不透明な状況が続いております。個人消費に関しても消費税引き上げに伴う駆け込み需要とその反動により不安定な状況が続きました。

当社グループが事業の主体をおく水産小売業界においては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、節約志向・低価格志向がいまだに根強く続いております。他方、水産資源の枯渇や異常気象などによる漁獲量の減少に加えて、世界的規模の需要増や円安により魚介類の仕入価格は依然として上昇傾向にあります。この消費性向と仕入環境により当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境において、当社は収益改善を図るべく、商品開発をはじめとする新しい商品MDの導入や売場の改善による既存店の強化と新規出店(鮮魚1店舗)及び不採算店舗等の撤退(鮮魚2店舗、飲食1店舗)をいたしました。また、包装材料コストの縮減を中心とした仕入効率化による原価率の低減、従業員1人当たりの生産性向上のための要員見直し等を実施し、人件費及び諸経費の削減を積極的に推進いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における当社の売上高は、33億10百万円(前年同四半期比5.6%減)、売上総利益は13億79百万円(前年同四半期比2.5%減)と前年を下回るものの、積極的な店舗戦略と経費削減が奏功して、営業利益は52百万円(前年同四半期比83.4%増)、経常利益は50百万円(前年同四半期比92.4%増)、四半期純利益は40百万円(前年同四半期比220.8%増)と大幅な収益改善をすることができました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (鮮魚事業)

鮮魚事業の売上高は、29億68百万円(前年同四半期比6.4%減)となりました。また、セグメント利益は、原価率低減と販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、1億50百万円(前年同四半期比34.8%増)となりました。

#### (飲食事業)

飲食事業の売上高は、2億85百万円(前年同四半期比2.6%増)となり、セグメント利益は、7百万円(前年同四半期比43.2%減)となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業の売上高は、61百万円(前年同四半期比0.9%増)となり、セグメント利益は、14百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて4億50百万円増加し、26億59百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ4億43百万円増加して18億51百万円となり、また、固定資産は前連結会計年度末に比べ6百万円増加して8億7百万円となりました。

#### (負債)

負債の総額は、前連結会計年度末に比べ4億5百万円増加し、23億67百万円となりました。このうち、流動負債は前連結会計年度末に比べ1億48百万円増加して18億77百万円となり、また、固定負債は前連結会計年度末に比べ2億57百万円増加して4億89百万円となりました。固定負債の増加は、財務バランス改善のため長期借入金を借り入れたことによるものです。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ45百万円増加し、2億91百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成26年4月14日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	567,600	815,078
売掛金	546,654	713,359
商品	118,507	150,946
貯蔵品	13,698	12,754
その他	161,825	159,962
貸倒引当金	△496	△661
流動資産合計	1,407,790	1,851,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	629,373	602,658
減価償却累計額	△518,029	△495,119
建物及び構築物(純額)	111,344	107,539
工具、器具及び備品	862,181	835,360
減価償却累計額	△774,269	△740,603
工具、器具及び備品(純額)	87,912	94,756
土地	389	389
リース資産	41,872	41,872
減価償却累計額	△23,193	△25,341
リース資産(純額)	18,678	16,530
有形固定資産合計	218,325	219,216
無形固定資産		
リース資産	15,605	12,601
その他	16,738	16,398
無形固定資産合計	32,344	29,000
投資その他の資産		
投資有価証券	74,241	81,634
敷金及び保証金	454,749	457,335
その他	21,224	20,658
投資その他の資産合計	550,215	559,628
固定資産合計	800,885	807,845
資産合計	2,208,676	2,659,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	458,257	1,003,711
短期借入金	750,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	41,600	118,208
リース債務	17,977	14,916
未払金	145,688	157,950
未払法人税等	70,542	15,572
賞与引当金	16,271	12,400
資産除去債務	2,319	2,732
その他	227,188	402,359
流動負債合計	1,729,845	1,877,850
固定負債		
長期借入金	—	262,908
リース債務	19,752	17,294
長期預り保証金	137,073	134,439
繰延税金負債	7,189	9,604
資産除去債務	64,483	61,901
負ののれん	3,636	3,454
固定負債合計	232,137	489,603
負債合計	1,961,982	2,367,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	941,031	941,031
資本剰余金	1,029,015	1,029,015
利益剰余金	△1,728,529	△1,688,142
自己株式	△5,443	△5,456
株主資本合計	236,072	276,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,621	15,383
その他の包括利益累計額合計	10,621	15,383
純資産合計	246,693	291,831
負債純資産合計	2,208,676	2,659,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	3,506,756	3,310,280
売上原価	2,092,423	1,930,821
売上総利益	1,414,332	1,379,458
販売費及び一般管理費	1,385,807	1,327,153
営業利益	28,525	52,305
営業外収益		
受取利息	30	2
受取配当金	1,096	1,146
受取手数料	544	470
負ののれん償却額	181	181
その他	425	591
営業外収益合計	2,278	2,391
営業外費用		
支払利息	4,808	3,842
その他	13	853
営業外費用合計	4,822	4,696
経常利益	25,981	50,000
特別利益		
固定資産売却益	1,169	55
違約金収入	—	2,508
その他	350	—
特別利益合計	1,519	2,564
特別損失		
固定資産除却損	122	286
店舗閉鎖損失	—	290
減損損失	—	296
特別損失合計	122	873
税金等調整前四半期純利益	27,378	51,691
法人税、住民税及び事業税	14,946	11,520
法人税等調整額	△157	△216
法人税等合計	14,789	11,304
少数株主損益調整前四半期純利益	12,589	40,387
四半期純利益	12,589	40,387

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,589	40,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,947	4,762
その他の包括利益合計	2,947	4,762
四半期包括利益	15,536	45,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,536	45,149
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,172,788	278,479	55,487	3,506,756	—	3,506,756
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	5,596	5,596	△5,596	—
計	3,172,788	278,479	61,083	3,512,352	△5,596	3,506,756
セグメント利益	111,569	12,687	14,100	138,357	△109,832	28,525

- (注) 1. セグメント利益の調整額△109,832千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△109,885千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,968,635	285,622	56,021	3,310,280	—	3,310,280
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	5,629	5,629	△5,629	—
計	2,968,635	285,622	61,650	3,315,909	△5,629	3,310,280
セグメント利益	150,451	7,205	14,698	172,354	△120,049	52,305

- (注) 1. セグメント利益の調整額△120,049千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△120,029千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

鮮魚事業セグメントにおいて、閉店が確定した店舗の固定資産について減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては296千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。